


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年 2月 9日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	11番	堀口恵一	
件名	大規模化災害に対応したまちづくりを				
要 旨					
<p>昨今の地球温暖化等の影響で気候変動が顕著になってきており、災害大規模化が進んでいると言われている。今までの想定を超える洪水、強風、土砂崩れ、夏の猛暑日の増加などが実際に起こっている。また、気象庁の説明では南海トラフ巨大地震はいつ起きてもおかしくない状態にあると説明されており、過去の歴史からも引き続き富士山噴火などもかなりの可能性で起こると言われている。国では、対処すべく気候変動適応法を整備して平成30年12月1日より施行となっており、町では将来的な気候変動にも対応できるまちづくりを目指すとなっている。そこで質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 町では大洪水、大規模土砂崩れ、富士山噴火火山灰（50cm～1m）などの大規模化災害への具体的な対策は検討されているか。2. 防災対策についてドローンの取り組みもしているとの話も聞いているがどのような状況か。3. 新東名の（仮称）山北スマートインターでは、非常事態時には御殿場方面からの自衛隊が出入りできるようになっていると聞いている。人口の8割が居住する新東名向原工区においても同様に非常事態時には自衛隊が出入りできるようにしておくべきだと思うがどうか。4. 水害、土砂崩れ、火山灰などに適応するため、また自然保護、エネルギー環境負荷低減のため地下を利用する考えは重要と思う。 ①清水中学校跡地の奥では新東名の橋脚の工事が行われており、基礎の奥側には掘削土砂搬出のため工事用のずり出しトンネルができています。清水					

中学校跡地の奥から小さい進入トンネルを設ければこの工事中トンネルに進入できる。また、工事中トンネルのふれあいビレッジ側でどこか進入口を設ければ通り抜けができることになる。この工事中トンネルは全体では広大なスペースがあるので避難所、備蓄倉庫、観光利用、雨天時の代替キャンプ場、峯集落への地下通路などと多目的で利用できると思われるがどうか。

②人口の8割が集中する地域（山北地区、岸地区、向原地区）は中心に丸山がある。現在丸山の中腹には新東名工事事務所があり工事中終了後の用途として研究・研修施設、製造業等企業誘致、または宅地化なども含め広く検討されているところであるが、SDGsの流れに対応して自然保護、エネルギー環境負荷低減のため思い切った地下利用の方針を出してはと思う。丸山は独立した山であり、安全性も高く、景色もよい、土砂崩れも限定的である。北側には御殿場線も接しており物理的には駅ホームも可能である。頂上にある企業の敷地と線路の落差は150m程度であり超高層のビルより低い。都内ではビルの緑化を進めているところがあるが、ここでは自然豊かな丸山そのままに地下のビル機能化で、避難所、備蓄倉庫、観光利用、サテライトオフィス、情報系アフレコルームなどと多目的で利用できると思われる。地下の有効利用を意図して、財力のある先進大企業に誘致を図るなどの考えはどうか。